



アフリカ日本協議会 (Africa Japan Forum)

2024年度 活動報告

(2024年4月1日～2025年3月31日)

アフリカンキッズクラブ

01

アフリカルーツの子ども・ユースが集い、楽しみ、経験や思いを共有する



2024年9月の「バーベキュー×サッカー×ダンス」は、AKC関西により大阪の会場で実施した。約50名が参加し、子どもたちだけでなく保護者間の交流も活発に行われた

アフリカにルーツを持つ子どもたちが集う場としてアフリカンキッズクラブ（AKC）を運営し、多様なアフリカの文化に触れ、交流するイベントを実施しました。AKCでは、「AFRICAN FASHION SHOW」（5月）、「みんなで踊ろう！アフロダンス&トーク」（6月）、「年末大集合！～アフリカ音楽&みんなでトーク～」(12月)を実施しました。AKC関西では、「バーベキュー×サッカー×ダンス」（9月）、「カレン×ジュリアのAfro Dance クラス」（3月）を開催しました。

主体的に活動するユースに協力し、アフリカンユースミートアップ（AYM）のメンバーも東京都人権啓発センターや大学などで講演を行いました（6回）。また、インディアナ大学教授による「現代日本におけるアフリカ系日本人の経験」インタビュー調査に協力しました。他に、味の素スタジアムで開催された「Enijeチャリティフットサル大会in味スタ！2024」（11月）にアフリカ日本協議会（AJF）チームとして参加しました。



2025年2月に東京都人権プラザで開催された「人権ディフェンダーになるための4日間集中プログラム」ではAYMのユース5名が、3日目午後の講師を担当した

02

在日アフリカ人との連携・支援

アフリカにルーツをもつ人びとが安心して生活できる社会を実現する

「難民・移民フェス」（7月）、「移住者と連帯する全国ネットワーク（移住連）」、「なんみんフォーラム」のネットワークへの参加など、他団体とともに、差別・偏見のない社会に向けて活動しました。

慶應義塾大学のボランティアサークル「ライチウス会」と連携し、難民の小・中学生への学習をサポートしました。また、在日アフリカ人の教育や生活などの個別の相談に対応しました。他にも東京周辺の在日アフリカ人集住地域における在住外国人支援団体等と連携し、情報収集や意見交換を行いました。

海外とのネットワーク、特にアフリカ地域については**WACi Health**（ケニアに本部のあるアフリカ全体の保健アドボカシー NGO）と連携し、また、アジア太平洋地域については**APCASO**（旧・アジア太平洋地域エイズ・サービス組織評議会）の評議員、およびグローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）を支援する市民社会ネットワークである「**グローバルファンド活動者ネットワーク・アジア太平洋**」（**GFAN AP**）の運営委員を務めました。これらの地域で特にエイズ、結核、マラリアに取り組む市民社会・当事者団体等の連携と協力を強化しました。

日本国内でのネットワーク形成については、同分野のNGOネットワークである**グローバルヘルス市民社会ネットワーク**（**GHネット**）の代表を務め、同ネットワークの事務局や幹事会メンバーと共に、保健分野に関する市民社会のセットワーキングや外務省や厚生労働省、内閣府健康・医療戦略推進事務局などとの意見交換会や政策提言の基盤を維持・発展させました。外務省・厚生労働省とは5回、内閣府とは2回の意見交換会を持ち、保健分野の課題等についての意見交換や政策提言を行いました。

10月に国連アジア太平洋経済社会委員会（**ESCAP**）北東アジア地域事務所が韓国・インチョンにて開催した「**北東アジアSDGsマルチステークホルダー・フォーラム**」において、SDGsゴール3（保健・福祉）に関するセッションおよびサイド・イベントを開催、韓国・モンゴル・ロシア・中国などの市民社会との連携を強化しました。また、前年度から引き続き東アジアにおける移民・移住者の健康と権利に関するセッションを開催しました。2月にバンコクで開催された**アジア太平洋地域SDGs持続可能な開発フォーラム（APFSD）**ではエイズ・結核・マラリアの三大感染症に特化した評価イベントを国連合同エイズ計画（**UNAIDS**）および**GFAN AP**と開催し、三大感染症に関する一定の注目を集めることに成功しました。

パンデミック予防・備え・対応（**PPPR**）等を含む国際保健政策の最新動向について調査し、メールマガジン「**グローバル・エイズ・アップデート・プラス**」を月刊で発行しました。



2024年4月 チポンダ保健大臣会合の様子



2024年9月 ADNJのダヴィドさん（右）、デニスコーデさん（左）、タトさん（中央）との会議



2025年2月 バンコクにて。UNAIDS、GFAN AP、AJF主催 SDGs感染症ゴールのレビュー会合

TICADおよび日本の対アフリカ政策への提言活動 04

市民社会として、アフリカの人びとの声を届ける

2025年の第9回アフリカ開発会議（TICAD9）の日本開催に向けて、30団体が加盟しているTICAD NGO連絡グループの活動を強化し、8月に開催されたTICAD閣僚会合にて同会議の全体会へのNGOの参加や、サイド・イベントの開催等を支援する取り組みを行いました。また、アフリカ側の市民社会と外務省とのオンラインでの意見交換会の開催をサポートしました。閣僚会議に「アフリカ市民協議会」（CCfA）メンバー、マウンゴ モオキ（ボツワナ）、フィツム ラケウ アレマイユ（エチオピア）、マイケル グウエイワワ（カメルーン）を招へいし、ともに政策提言活動に取り組みました。



2024年8月 TICAD閣僚会合のサイドイベント後の集合写真

05 アフリカの食料と農業

農民の生活と飢えの現状を知り、ともに考え、行動する

食と農の課題について調査や研究、意見交換を行う場をつくり、アフリカおよび世界とつながる国内の食料課題について理解・行動する人が増えること、日本語でアクセスできる資料やデータを増やすことを目的に活動しました。食料・農業に関する調査・研究は、FAOの報告資料を研究する「FAOの資料を読む会」の実施（10回）とオンラインセミナーを2回開催しました。また、「世界食料デー」月間に向けて他団体や横浜市と協力しての啓発活動（プレイベント「胡麻から見える食料危機」、World Food Night 2024出展）を行いました。



「食を通して見えるアフリカ」セミナー。
京大アフリカセンター研究員の加藤珠比さんが講師を務めた

熱帯林と野生生物保全

アフリカ熱帯林と野生生物の課題について発信する

アフリカ熱帯林地域での森林環境、野生生物、先住民族についての調査研究に基づき、地球環境の問題、関係する先住民族の社会問題等について、イベント等でアフリカ熱帯林地域の自然環境や野生生物の課題について情報発信、関連セミナーの紹介等を行いました。NPO法人TSUBASA主催の「愛鳥祭」や「多摩動物公園アフリカフェア」に出展参加し、絶滅に瀕する野生のヨウムについて情報提供を行いました。



2024年11月にNPO法人TSUBASA主催の愛鳥祭に出展した

06

07 アフリカ理解促進

アフリカから学ぶ、考える、発信する

アフリカをとりまく環境の変化と課題についての理解を促進し、AJFの活動の基盤強化を目的に、会報『アフリカNOW』は125号、126号、127号を発行、メールマガジン『AFRICA ON LINE』を毎週配信しました。アフリカニュース発掘部を学生インターン及びボランティアの協力のもとで進め、メーリングリストやウェブサイトで月1回発信しました。その他、アフリカに関わるテーマで、対面イベントでのブース出展や、後援、原稿執筆、メディアインタビュー等を通して、理解を深めるよう努めました。

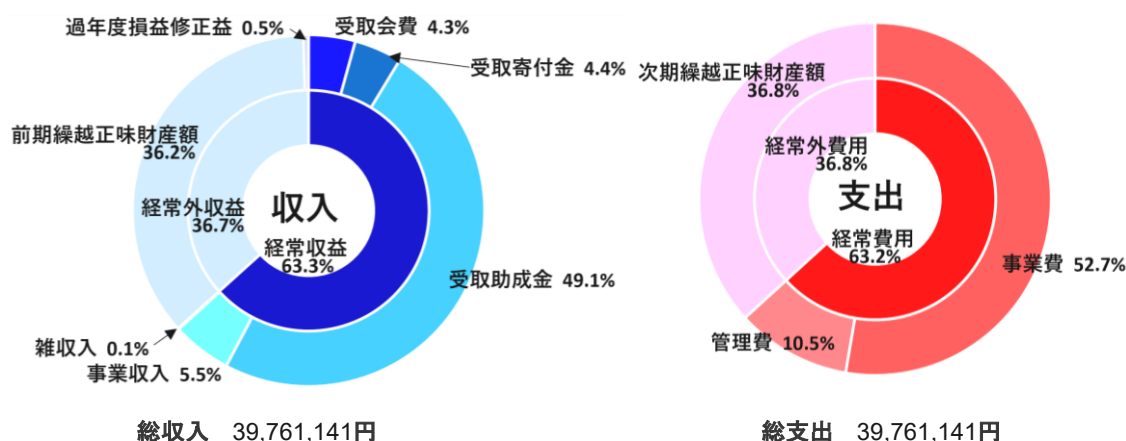


『アフリカNOW』125号（2024年4月）、126号（2024年10月）、127号（2025年3月）を発行した

事務局運営（事務局体制：フルタイム4名、パートタイム1名）

理事会の開催（5月、7月、9月、12月、2025年2月）のほか、理事会のもとにある各種委員会を会員・財政・事業委員会、ガバナンス・倫理委員会、広報委員会の3つに再編し、事務局の運営をサポートしました。（正会員個人 201名 正会員学生 2名 正会員団体 1団体 賛助会員 47名 賛助団体 1団体 マンスリーサポーター 4名）

2024年度 会計報告



アフリカの人びとと共に活動する仲間として、AJFの活動を支援してください

入会

AJFの会員になって、アフリカとのネットワークを広げませんか？ 学生やアフリカに関心を持ち始めた方も歓迎です。



AJF入会案内

寄付

あたたかいご協力をお願いします。

以下のいずれかの口座にお振り込みください。クレジットカードの場合は右記QRコードから、<https://ajf.gr.jp/donate/>からアクセスしてください。

【郵便振替】00120-3-573276 特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

【銀行口座】三菱 UFJ 銀行上野支店（普）5305887 特定非営利活動法人アフリカ日本協議会



AJF寄付ページ

※銀行口座への振り込みの場合は、info@ajf.gr.jp までご連絡をお願いします。

NPO法人 アフリカ日本協議会（AJF）

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル3階

E-MAIL : info@ajf.gr.jp / TEL : 03-3834-6902

ホームページ : <https://ajf.gr.jp/>

<https://www.facebook.com/Africa.Japan.Forum/>

https://www.instagram.com/africa_japan_forum/

<https://twitter.com/AfricaJapanF>